

# 市議会だより

大月市

令和3年11月30日発行 No.164

特集ページの意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため延期いたしました。



電子黒板とパソコンを活用した授業風景  
(猿橋小学校)

## CONTENTS

- ・ 令和3年第4回（9月）市議会定例会  
（主な議案の内容）…………… P. 2～
- ・ 決算審査特別委員会 …………… P. 4～
- ・ 議決結果等一覧表 …………… P. 6
- ・ 代表質問／一般質問 …………… P. 7～9
- ・ 議会日誌 …………… P. 10

# こんな事が決まりました

9月1日～9月30日(30日間)

### 今定例会の議案

**市長提出**

- 条例案件・・・1件
- 補正予算案件・・・3件
- 決算認定・・・9件

**議会提出**

- 請願・・・2件
- 意見書案・・・3件



## 主な議案の内容

### 条例

◎大月市税条例中改正の件

軽自動車税の納期が変わります

納税者の利便性向上を図るため、軽自動車税(種別割)の納期について改正を行いました。

○改正内容

「4月11日から同月30日」までを「5月1日から同月31日まで」に改正

### 予算(補正)

◎令和3年度 大月市一般会計補正予算(第4号)

◆歳入

○ふるさと大月応援寄附金 2億円

○衛生費国庫補助金 2、427万1千円

◆歳出

○閉校跡地管理経費 (畑倉小学校屋内運動場解体工事費等) 2、819万4千円

○学校施設営繕工事(猿橋小学校スクールバス乗降所改修工事) 1、397万円

◎令和3年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第1号)

◆歳出

○介護保険制度改正に伴うシステム改修経費等 93万8千円

◎令和3年度 大月市一般会計補正予算(第5号)

◆歳出

○障害者自立支援事業 1、032万円

○がんばろう大月休業等要請協力支援金事業 1、920万円

○がんばろう大月新規事業 チャレンジ補助事業 600万円

### 請願

◎加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

◎子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願

○趣旨の必要性を認め、全会一致で採択され、関係省庁へ意見書を提出することになりました。

## 常任委員会の様子

### 総務産業常任委員会

防災減災対策について(建設課)

Q 防災減災対策について、県への働きかけは。

A 広報等で戸別受信機設置のご案内等もしましたが、まだアナログの戸別受信機を使用している手続きをせず、そのままになっている所や、デジタル工事が終わりましたが、無線が聞こえにくいという所があるので、それらに対応するため、補正予算を計上しました。

A 急傾斜地については、毎年数件の要望書を出されており、新しく採択もされています。流域治水、河川の事業もあります。大月の場合はほとんど急傾斜地として山梨県に要望しています。治山関係もやはり同じように要望しているところです。

戸別受信機について(総務管理課)

Q 防災行政無線の戸別受信機に関して補正予算が計上されているが、申し込みの状況は。



Q 更に増えてくると思うので、メール等の周知

## 主な議案の内容

### 条例

◎大月市税条例中改正の件

軽自動車税の納期が変わります

納税者の利便性向上を図るため、軽自動車税(種別割)の納期について改正を行いました。

○改正内容

「4月11日から同月30日」までを「5月1日から同月31日まで」に改正

と、戸別受信機の予算化を共に行っていく方向で考えた方が良いと思うが。

A 予算等検討していききたいと思います。

ふるさと大月応援寄附金について(企画財政課)

Q 返礼品はフルーツなどの食品類が人気ですが、どのように確保しているのか。国の制限が強くなった場合の対応は。

A 市町村の意向によって、県の共通返礼品として扱ってよいということであれば、生産していない市町村でも扱えるということになっていきます。各市町村の意向が毎年同じだということとは確認出来ていませんので、昨年から市内でフルーツなどの栽培をしていただけなのか農家さんと話をさせてもらい、市内の遊休農

### 社会文教常任委員会

コロナウイルス感染者家族への対応について(子育て健康課)

Q 家族全員がコロナウイルスに感染してしまつた時に、子供をみる人がいない場合の対応は。

A 県、保健所に対応していただいております。県立中央病院や宿泊療養施設に家族全員で行っていただく状況です。

LINEの予約システムについて(子育て健康課)

Q 送信される情報が読んだ時に分かりづらいと、声がよく、分かりやすいコミュニケーション

んを考慮していただき。

A 私達が分かっているから、皆さんも分かっているという認識があったと思います。今後は気をつけて情報発信していきたいと思っています。

給食センターの土地について(学校教育課)

Q 契約時期と価格、今後の価格見直しについての考えは。

A 借地については、地権者4名からお借りし、総額で500万円を超える額になります。契約については20年契約で、平成19年に締結しました。今後のことですが、借地している他の部署の状況を勘案する中で教育委員会だけ、給食センターだけではなく、足並みを揃えた形で対応していきたいと考えています。

# 令和2年度決算を認定！

## 決算審査特別委員会における主な論点 Q & A

### 公金等管理適正化について

Q 昨年度問題となったシルバーお出かけパスの現金の処理は怎么样了か。



A シルバー及び障害者お出かけパス利用者負担金につきましては、3月中に利用者より預かりました現金は、納入のあった日ごとに毎回、令和2年度の雑入に入金し、年度当初には新年度の適正な科目に科目更正を行い、できる限り現金を保管しないような方法に変え、これを実践しました。

### 学校ICTについて

Q 当初より1年前倒しで整備できたということですが、教育委員会では、授業の取り組みとして、授業参観などはしているか。



A 教育委員の学校訪問を春・秋の年2回実施していますが、その中で授業の風景を見させていただいています。また、各学校の代表と教育長・教育委員会の職員を含めてICT担当者会を組織し、情報共有をする中で、いろいろな対応等わからない点を補ったりしています。

### ふるさと納税について

Q 組織機構改革で企画担当の一人がふるさと納税の専任となり、これだけの成果があるのなら、もっと強化したらどうか。



A 専任が一人ではあるが、課長を含め4人で進めており単純に増やしたからと言って、成果が出るとも思っていません。今後状況を見ながら検討します。  
《ふるさと大月応援寄附金実績》  
・令和元年度 約3億9千万円  
・令和2年度 約7億6千万円

### 官製談合防止について

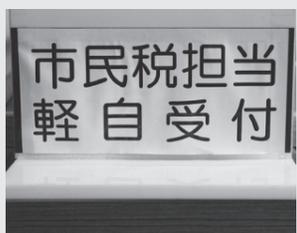
Q 県内において官製談合事件が起きているが、大月市の談合防止策はどのような策か。



A 談合情報マニュアル、入札監視委員会設置要綱があり、入札に関する談合情報があった場合には公正入札調査委員会を招集することになっています。大月市では5千万円以上の契約は一般競争入札にしており、指名競争入札においては、指名した業者の理由は説明できるようになっています。

### 不能欠損処理について

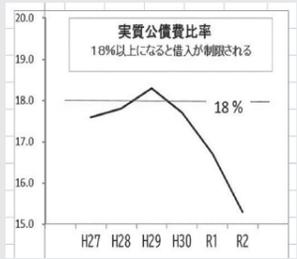
Q 監査委員から不納欠損処理は安易にはしないと指摘されているが、どのような対応をしているのか。



A 県の指導も受け、口座差押などを厳しく行っている。機械的に処理すると実績も上がるが、安易な処理とならないよう丁寧な対応を心がけている。徴収困難な要因は、納税義務者の死亡・法人の倒産・個人の生活困窮等があり、監査委員より厳正な対応を求められているので、個々の状況に即して対応しています。

### 財政状況について

Q 起債許可団体を脱出し、危機的状況を脱したと認識しているが、いかがか。また、財政調整基金の目標額は。



A 危機的状況か答は差し控えるが、他市の状況と比較しても依然として厳しいと認識している。財政調整基金の目標は、概ね標準財政規模の2割くらいと考えている。11億円を目安にし、その先には15億円を目標としています。

### ・決算審査と予算審査の違い【議会の役割】

税金の使い方を決めるのが予算審査、決算審査は使われた結果を検証し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

「決算状況の詳細は広報おつき10月号をご覧ください」



副委員長  
棚本晃行



委員長  
鈴木基方

付託されました9案件を審査するため、9月24日、27日、28日の都合3日、委員会を開催しました。  
審査の経過としては、監査委員から決算の概要について、説明を受けた後、課等部署別の審査とし、担当課長等から説明を求め、慎重に審査を行いました。  
審査終了後、各決算認定別に採決を行い、「認定第1号 令和2年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件」から「認定第9号 令和2年度山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」まで、全会一致で原案のとおり認定するものと決しました。

審査の過程で、各委員から多くの意見が出されましたが、その内、主なものを申し上げますと、まず1点目は、小中学校ICT教育の推進についてです。ICT教育の環境整備として、一人一台端末、電子黒板の設置、校内無線ネットワーク通信環境の整備につきましては、早めの対応により、令和2年度で環境整備が終了したことは、大変喜ばしいことであります。今後は、情報活用能力の向上のため、コロナ禍におけるオンライン授業等への対応も含め、これらのICT機器を活用し、児童生徒一人一人に寄り添った対応を図れるよう求めます。  
2点目は、ふるさと納税についてです。ふるさと納税は、本市の貴重な財源であり、令和2年度は、約7億6,700万円と昨年より更なる増額となりました。  
これは、返礼品を更に追加したことや担当課等における努力の成果であります。今後も引き続き、創意工夫を図り、ふるさと納税の増額に向けて努めていただきます。



3点目は、福祉課の審査において、障害支援区分認定の事務処理に、不適切な取扱いがあったとの報告があり、現在調査中とのことでありますが、この不適切な事務処理につきましては、大変遺憾であり、二度とこのよう  
うな事態が起これぬよう、市長に対し、今後、速やかな原因究明と再発防止等、必要な措置を講じ、議会に対し、その報告をするよう求めます。  
以上、これらの意見を今後の行政運営に反映させることをお願し、誠に簡単ではありますが、決算審査特別委員会の報告とさせていただきます。

令和2年度決算審査特別委員会 委員長報告

# 令和3年9月定例会 議決結果等一覧表

賛成○ 反対× ※相馬保政 議長を除く

種別	議案番号	議員名 案件名	萩原	奥脇	小泉	西室	小原	藤本	山田	相馬	鈴木	安藤	志村	棚本	結果
			剛	一夫	二三雄	衛	文司	実	政文	力	基方	久雄	和喜	晃行	
条例	第53号	大月市税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	第54号	令和3年度 大月市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第55号	令和3年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第56号	令和3年度 大月市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決算認定	認定第1号	令和2年度 大月市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	令和2年度 大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第3号	令和2年度 大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第4号	令和2年度 大月市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第5号	令和2年度 大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第6号	令和2年度 大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第7号	令和2年度 大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第8号	令和2年度 大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第9号	令和2年度 山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	第1号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	第2号	子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書	第1号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2号	子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※意見書の内容につきましては、大月市のホームページをご覧ください。

## 9月定例会 代表質問・一般質問

代表質問 (1) 西室 衛議員 (大月改新の会&公明) 7ページ

- ①ふるさと納税による今年度の寄附額の見通しは
- ②大月バイパス完成後の市街地活性化策は

(2) 奥脇一夫議員 (山と川の街大月) 8ページ

- ①市役所本庁舎の建て替えの考えは
- ②市内優良農地の荒廃対策として、ザクロ栽培に対し、市の支援は

一般質問 (3) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 9ページ

- ①市内事業者の経営状況をどう認識しているか
- ②大月市のまん延防止等重点措置への支援策は



市議会のページは  
コチラから

### 代表質問



大月改新の会&公明  
西室 衛

**Q** ふるさと納税による今年度の寄附額の見通しは

**A** 昨年度の寄附額を上回るよう努める

**問** 1、ふるさと納税による今年度の寄附額の見通しは。

ふるさと大月応援寄附金は、令和2年度7億6、693万9、000円と順調に推移してまいりました。令和3年9月現在、昨年の同時期と比較すると6割程度で昨年度を下回る状況であるため、新たな返礼品の開発など寄附額の増加策を講じ、昨年度の寄附額を上回るよう努めてまいります。

**答** 総務部長

3、電子感謝券の具体的な内容と活用方法は、

次に、新たな返礼品の開発状況についてです。昨年度より新たな特産品開発に対し、補助率4分の3、上限30万円を助成する制度を設け、3団体が新たな特産品の開発に成功し、ふるさと納税返礼品として登録されました。

**答** 産業建設部長

**問** 1、大月バイパス完成後の進捗状況は。

2、バイパス完成後の大月橋の改築計画は。

3、大月バイパスの完成後の市街地活性化策は。

令和2年度中の供用開始予定でしたが、令和元年10月の台風19号による影響及び工事区間内において想定以上の巨石が多数出現し掘削作業の施工効率が低下したことなどから、施工方法の見直しを行い、完成は令和4年春頃の予定となっております。

ら移管協議を進めていく予定となっております。

次に、完成後の市街地活性化策についてです。大月バイパスが全線開通しますと、現道への交通負荷の軽減が図られることにより、大月市街地においての大型車両等の通過交通の流入抑制や駐車規制の緩和等が可能となり、今後は、地元の見解を取り入れながら、回遊性のある拠点としてのまちづくりを検討する中で、市街地の活性化を進めていきたいと考えています。

**Q** 大月バイパス完成後の市街地活性化策は

地元の意見を取り入れ、回遊性ある拠点としてのまちづくりを検討する

本市としましては、大月バイパスの全線開通の早期実現に向けて、引き続き事業主体であります国土交通省に協力して取り組んでまいります。

次に、完成後の大月橋改築計画についてです。現道のバイパスにつきましても、保全状況等の確認をする中で、要望事項を精査しながら



早期完成が待たれる大月バイパス



山と川の街大月 奥脇 一夫

### Q 市役所本庁舎の建て替えの考えは

A 新年度には、再度基本構想の策定に着手したい

問 市役所本庁舎の建て替えは現在地か、或いは、現在地の近くに建設すべきと思うが、如何か。防災の観点から、また市民と職員の命を守るためにも早急な対応を。

答 市長 庁舎を現在の場所に建て替える場合には、敷地面積が狭く、駐車場確保も難しい状況であり、隣接する小学校の児童の登下校における安全確保が課題と考えています。さらに、仮設庁舎建設が必要となり、代替施設の確保が課題となります。また、現在の庁舎周辺では、広い空き地等がないことから、用地取得や補償に

多大な費用が必要であると推測しています。しかしながら、議員ご指摘のとおり、市庁舎は市民の生命を守るための要となる重要な施設という認識をしっかりと持ち、新年度には、再度基本構想の策定に着手したいと考えています。

Q 市内優良農地の荒廃対策として、ザクロ栽培に対し、市の支援は

A 生産者の皆様の支援を行ってまいりたい

問 市内優良農地の荒廃対策として、付加価値のあるザクロ栽培は、実現可能な政策と考えますが、如何か。また、市としてのよ

答 産業建設部長 議員提案のザクロにつきましては、市内ではほとんど栽培されておらず、また

国内でも生産量が非常に少ない果物であることから、将来の付加価値を期待しての栽培にしたいと思います。市としては、荒廃農地対策の一つとして、農地を有効に利用し収益性の高い農作物を栽培することに

より、農業の高付加価値化等を推進する取組などについて後押しをしていきたいと考えています。次に、大月市としてどのような支援ができるかについて、農作物を栽培するには、まずは農地の用意が必要かと思われ

たは、賃貸する場合には、農地法に基づき農業委員会等の許可を受ける方法、もしくは農業基盤強化法に基づき市が定める農用地利用集積計画により権利を設定、移転する方法があり、地域ぐるみで農地の集積や集約を進める場合は、農地中間管理事業の活用も考えられます。

いずれにしても、市が相談窓口となり、農地の確保



ザクロの実



藤本 実 日本共産党 所属

### Q 市内事業者の経営状況をどう認識しているか

A 飲食業などの対面サービス業においては依然として苦しい状況

問 私は、まん延防止等重点措置に伴う事業者支援策に輪をかけて、大月市独自に、給付額も予算規模も思い切った経済支援を検討すべきだと思

答 産業建設部長 6月定例会の総務部長答弁の中で、セーフティネット保証融資制度の申請件数についてお答えしたところではありますが、これは安易に件数の減少が経営状

況や資金繰りが回復したとは捉えておらず、小規模事業者においてはこれ以上の返済負担を負えないといった、さらに厳しい状況もうかがえ、飲食業などの対面サービス業においては回復が遅れており、依然として苦しい状況であるという認識でした。

それに加え、本市が今回のまん延防止等重点措置の区域となったことで、飲食店については休業要請に対応しなければならず、ますます状況は悪化しています。飲食店への休業等要請協力金は支給されますが、これは一時しのぎであり、逆に店が開けられない、仕事ができないなど、やる気をそぐような精神的なつらさも重なり、感染の長期化で先行きも見通せない中、事業継続の断念なども懸念されるところです。

今後も地域の実情、費用対効果及び財政状況などを勘案しながら市内事業者の支援を継続してまいります。

### Q 大月市のまん延防止等重点措置への支援策は

A 業種や地域を問わずに市独自の給付金を検討

問 山梨県の飲食店等への休業等要請協力金は当然ですが、外出自粛等による消費減退のマイナスは、飲食業だけに限りません。大月市には、困っている全業種の市内事業者への経済支援を進めることが求められている。

答 市長 本市においても、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業者支援分の総額約2、300万円を財源とし、県からの休業等協力要請に応じて休業等を実施している飲食店等に対して、また業種や地域を問わずに、この影響を受けて売上げが減少し、国の一時支援金や月次支援金の交付決定を受けた事業者に対して市独自の給付金として事業継続の支援を検討しています。

がんとら大月!! 休業等要請協力支援金 申請書類 申請先

# 議会日誌

あなたも  
本会議を傍聴しませんか

## 8月（後半）

17日	大月市議会議員定数等調査特別委員会 議員定例懇談会
25日	議会運営委員会

## 9月

1日	全員協議会 令和3年第4回市議会定例会 開会 決算審査特別委員会
15日	代表質問・一般質問
17日	総務産業常任委員会 市議会広報委員会
21日	社会文教常任委員会
24日	決算審査特別委員会
27日	決算審査特別委員会
28日	決算審査特別委員会
30日	議会運営委員会 全員協議会 令和3年第4回市議会定例会 閉会

## 10月

19日	議員定例懇談会
20日	山梨県市議会議長会第266回定期総会
22日	令和3年度第1回大月市地域包括ケア推進会議
25日	令和3年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会

## 11月（前半）

1日	市議会広報委員会
10日	全国市議会議長会第225回理事会・第111回評議員会合同会議

議員はあいさつ状（年賀状など）を出す  
ことが公職選挙法で禁止されています。  
（自筆による答礼は除く）

### 市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様にご親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。  
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

## 12月定例会の日程（予定）

- 開会日 11月30日
- 代表質問 12月15日
- 一般質問
- 一般質問（予備日） 12月16日
- 閉会日 12月22日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 編集後記

職員による不祥事が続き非常に残念であり遺憾である。今回も福祉関係の職場で、誰よりも「市民」に寄り添い、親身に対応しなければならない職場でもある。

議員は原因および、動機については聞き及ばないが、職場内のコミュニケーションは図られていたのか。部下の仕事状況を把握し、風通しの良い職場づくりが大事である。この機会にもう一度「チーム大月市」をつくり市民の信頼を勝ち取って頂くことを望む。（担当 西室 衛）

Editorial note

発行 大月市議会  
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局  
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号  
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321  
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会  
広報委員会

委員長 棚本 晃行  
副委員長 藤本 実  
委員 西室 衛  
委員 鈴木 基方  
委員 安藤 久雄  
委員 志村 和喜



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。